

調査年月日: 2017(H29)/06/23(金)

調査区間: 国見温泉～横岳～阿弥陀池小屋 (高山植物盗採防止パトロールと兼ねて実施)

調査等参加者: 工藤、大堀、佐々木(和)、今宮、民部田、佐藤、吉田、上村、阿部

[メモ]

文責: 阿部丕顕

1 調査主眼点

- ① 登山道の状況 (特に木歩道)、危険箇所有無確認
- ② 誘導標等の状況確認
- ③ 眺望地点等登山道の魅力再確認

2 調査結果

(1) 総括

- ・ 全体として快適な登山道であり、危険箇所は見当たらないが、一部補修が必要な箇所がある。

(2) 登山道の状況等について

- ・ 刈払いや水切り等、しっかり管理されている。
- ・ 木道については全般に老朽化が進み一部腐朽して滑りやすくなっているため更新が望まれる。

(3) 誘導標等について

- ・ 要所には設置されているが、区間距離が表示されていないものが多いので、表示したい。
- ・ 今後、外国人対策として英語等表示も必要ではないか？

(4) 登山道としての魅力

- ・ ブナ林から大焼砂まで豊かな植生と、好天時の田沢湖等の眺望や、男岳、女岳などの火山地形の観察等、興味対象が多い。

(5) 参考

- ① 今回の踏査総延長 (往復) 約9.4Km、標高差約730m  
 所要時間は全行程約5.2時間 (休憩含み)  
 登山: 国見温泉～横岳 (1583高地) 約2時間30分  
 横岳～阿弥陀池避難小屋 約20分  
 下山: 阿弥陀池避難小屋～国見温泉 約1時間40分



コマクサ開花直前



ミヤマダイコンソウが尾根を飾る



国見温泉登山口



盗採防止パトロール状況



登山口付近の国立公園案内板



同左付近の営林署設置案内板



登山口付近の擬木階段  
ウラジロヨウラク咲く



木道腐朽状況 H≒932m  
(下山時撮影)



同左、H≒935m付近  
(下山時撮影)



ブナ林を歩く H≒945m付近



木階段 H≒965m



木道腐朽状況 H≒1,010m  
(下山時撮影)



木階段と木歩道 H≒1,015m (下山時撮影)



木道腐朽状況H≒1,030m



自生の杉 H≒1,035m付近



横長根付近に作られた水切  
H≒1,070m (下山時撮影)



同左、H≒1,085m (下山時撮影)



横長根付近の水切 H≒1,105m



横長根直下の擬木階段



横長根 H≒1,177m



標柱  
(左側面)  
「岩手」



(正面) 「横長根」  
「横岳・大焼砂→」  
「←金十郎長根・御坪分岐」



(右)  
「国見温泉1.5km」



掘割となっている登山道  
H≒1,280m付近 (下山時撮影)



第二展望台付近



第二展望台の標柱  
(正面) 「第二展望台」  
H≒1,306m



(右) 「笹森山・乳頭山分岐点→」  
「H13 岩手県」



(左) 「H13 岩手県」



標柱「男岳分岐」「↑横岳 (1,583高地) 1.2km」  
「従是右駒草高嶺藁道 左稚児車道」 H≒1,351m



「男岳→」「←国見」



H≒1,354m付近



駒池コース分岐の標柱  
H≒1,363m



(正面)「横岳 (1,583高地) →」  
「←国見温泉」「岩手県」



(右)「男岳→」  
(左)「←男岳」



制札「登山道以外入らないで下さい」  
H≒1,396m付近



(同左)  
H≒1,406m付近



標柱 (正面)「大焼砂」「笹森山・乳頭山分岐点→」  
(両側面)「H13岩手県」 H≒1,504m



ハイマツ帯 H≒1,520m



横岳分岐標柱  
(正面)「国見温泉・大焼砂→」



(両側背後表示なし)



古い誘導標  
「国見温泉4.2km」  
「千沼ヶ原6.8km」  
(数値読取り困難推定値)



横岳山頂付近 H≒1,583m



古い標示板  
「横岳」「1583高地」



横岳山頂の三等三角点



横岳山頂標柱(正面)「横岳」「←男岳1.0km」「焼森0.6km→」  
(左)「国見温泉4.5km→」  
(右)「高山植物を大切にしよう」



古い誘導標  
「←アミダ池0.5k 男岳1k」



古い誘導標 「男岳Ok→」「←湯森山Ok」  
「小屋0.3k」



誘導標等の乱立

横岳山頂一帯には古い誘導標や標示板が多い。中には文字が判読できないものもあるので、整理が必要と思われる。



横岳分岐点の標柱「阿弥陀池0.3km→」



(正面)「横岳分岐点」「男岳0.8km→」「←横岳0.2km」



(右)「←阿弥陀池避難小屋0.3km」



阿弥陀池に通じる木道は比較的しっかりしている



小屋近くの水場



参加者のうち岩手山地区PVメンバー



阿弥陀池避難小屋と公衆トイレ



高山植物盗採防止パトロール等参加者一同